

フィリピン大学マニラ校の10名の学生が来日し「日本・フィリピンにおける医療安全管理と看護の役割」の研修を行いました



1. プログラム目的

フィリピンの保健医療の将来を担う優秀な学生を招聘し、日本の医療安全管理に関する制度・政策の検討の契機となった本学附属病院ならびに国際認証を取得した病院での講義・見学、日本医療機能評価機構において日本の医療安全への取り組みに関する講義等を通し、日本における医療安全管理における医療従事者としての役割を学ぶ機会を設けることを目的とする。

フィリピン大学マニラ校の医学部3名、看護学部3名、公衆衛生学4名の学生さんが参加されました。

2. 日本とフィリピンの医療政策の違いについて学びました

日本とフィリピンの医療制度や政策の違いについて真野俊樹先生（中央大学）から学びました。



3 横浜市立大学附属病院の医療安全に関する講義と見学

日本の医療安全の政策を変えるきっかけになりました横浜市立大学医療安全部の菊池龍明部長、岩間看護師長から講義を受けました。その後、病院見学をしました。



菊池龍明医療安全・医療管理学部長



岩間医療の質・安全看護師長



田中教育担当副看護部長



横浜市立大学附属病院屋上で



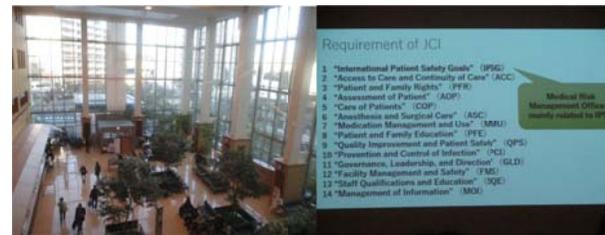
手術室



医学部の先生方と

4 JCI国際認証をうけた病院の医療安全対策

JCI国際認証をうけている湘南鎌倉総合病院国際医療支援室と医療安全部からご講義をいただきました。



病院のエントランス

Requrment of JCI



屋上ヘリポート

5 医療安全と医療倫理、意思決定

有馬斉准教授（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科）から、医療安全と医療倫理の講義をいただきました。判例などにみる意思決定の問題と課題について議論をしました。



有馬斉准教授



Analizaさん（フィリピン出身日本在住の看護師）看護学科学生とプレゼンテーション



6 日本医療機能評価機構で日本と世界の医療の質改善のための取り組みを学びました

後信先生（医療安全担当の執行理事、九州大学教授）、橋本廸生常務理事、平田彰朗部長（教育研修事業部）に日本の医療安全・医療の質改善の取り組みについてご講義をいただきました。ISQuaのFellowship Programの情報もいただき、フィリピンに帰国しても継続的に学習する貴重な情報をいただきました。

